

1 新規就農者向けの支援制度

新規就農時の機械・施設に助成
就農条件整備事業

- 対象者** 町内に就農する認定就農者等
(就農時から5年以内、65歳未満)
- 内容** 次の場合に助成する。
(1) 農協または公社が認定就農者等に対し就農時に必要な機械・施設を貸与するために整備する場合
(2) 認定就農者等が自ら就農時に必要な機械・施設を整備する場合
- 補助率** 1/2 (事業費上限2,000万円)



秋は収穫の喜びに胸躍らせる

認定就農者に借地料を助成
農地賃借料助成事業

認定就農者を対象に農地賃借料を助成する。
(就農から5年間)

2 移住・定住者向けの主な支援制度

住宅

空き家情報活用制度

町が賃貸・売却希望のある空き家を募集・登録し、移住希望者へ情報提供する。

UIJターン者住宅改修支援事業

空き家活用情報システムに登録された物件を購入または賃貸した場合に改修費を助成(補助率1/3、上限100万円)

子育て

出産祝

出生届を提出した保護者に祝い金を支給(子ども1人につき1万円)

通学補助

町立小・中学校へ遠距離通学する児童・生徒の保護者に対し、通学費の全部または一部を補助

その他

ひとり親家庭世帯への入学支度金の支給、経済的な理由で進学が困難な者に対する進学奨励資金の支給(高校、大学)など



Town Topics
柿王国・八頭 ~ 花御所と西条

八頭町は県内最大の柿の産地。「花御所」と「西条」の2品種が特産品として知られる。花御所は、肉質が緻密で果汁が多く、糖度は20度以上にも及び甘柿。約200年前、旧郡家町(現八頭町)花地区に住む野田五郎助が奈良県から枝を持ち返り接ぎ木したのが始まりと伝えられる。その後、明治42年、農林省(当時)の園芸試験場長がその風味を激賞し、地名にちなんで

「花御所柿」と命名。現在は日本一の甘柿として全国的に高く評価され、進物用として広く親しまれている。ただ、栽培が難しく適地が限られるため、ほとんどが旧郡家町の一部地区だけを産地とする珍しい柿だ。一方、西条柿も中国地方特有の渋柿。渋抜きすると上質な甘味と絶妙の食感が楽しめる。ずんぐりとしたロケット型の形状も印象的だ。花御所と西条。地域限定の希少品種を育む八頭町は、まさに「秘宝の里」といえよう。

担当者メッセージ

八頭町産業課
林 文宏さん



八頭町は米、野菜、果樹、きのこなど多様な品目が栽培される農業を基幹産業とするまち。特にフルーツの里として梨、柿、リンゴなどの栽培が盛んで、秋には豊かな実りを実感できます。そんな恵まれた環境の中で、農業を始めてみてみませんか？ 何でもお気軽にご相談ください。

新規就農者紹介

平木 勉さん



平成17年2月就農。耕作できなくなった近隣農家の果樹園2haを借りて、地元特産の花御所柿と西条柿を栽培している。町の農業は高齢化が進み、活力も衰えがち。柿生産の担い手としての自覚を強く持ちながら経営改善に努力している。



ようこそ！
実りの風薫る
フルーツの楽園へ。

八頭町は多彩な果物が栽培される「フルーツの里」。特に秋はみずみずしい香りでまちが満たされる

まちの環境と農業

environment & agriculture

気候

農産物栽培に適した環境条件

年間の平均気温は15 前後と比較的温暖だが、降水量は年間平均約1800mmと多い。冬期の寒さ、昼夜の温度差の大きさなど農産物栽培に適した環境がある。

地勢

八東川沿いに水田・果樹園

町の中央を流れる八東川はヤマメも生息する清流で、流域に水田、果樹園などが広がる。東側には国定公園内にある扇ノ山(標高1309m)がそびえ、山麓にはアウトドア施設が整備されている。南西部には竹の群生地も。



農業

多彩な果樹栽培が特徴

農業産出額は約29億円(平成18年)で、米のほか柿、梨、ブドウ、リンゴなど多彩な果樹栽培が特徴。町内の国道29号沿線は、果樹園が数多く立地することから「フルーツロード」と呼ばれる。ほかに白ねぎ、しいたけなど。



主な農産物

agricultural products

米



好評の「ふなおか米」

八頭町は八東川からの豊かな水など恵まれた環境の中で、米づくりがさかん。なかでも町西部の船岡地区では、平成4年から早期コシヒカリ栽培に取り組み、化学肥料・農薬の使用を抑えた「ふなおか米」は消費者に好評だ。

柿梨りんごの産地

いずれも全国品質

八頭町の果樹栽培は、柿、梨、ブドウ、リンゴと非常に多彩。柿は甘柿の「花御所」と渋柿の「西条」が栽培され、いずれも全国レベルの品質を誇る。梨は青梨の「二十世紀」、赤梨の「愛宕」など多くの品種を生産。土壌など良好な自然条件を反映して、糖度が高いのが特徴だ。町は果樹団地の造成など、後継者育成にも力を入れている。ぶどう、りんごでは、それぞれ代表的な「巨峰」、「ふじ」が栽培品種だ。

梨に柿、ぶどう、さらさらりんごまで。八頭町はみずみずしい果物で彩られる「フルーツの里」だ。実りの季節には各地で感謝の宴が催され、まちはフルーティーな香りに包まれる。まちの農業者はそんな楽園への水先案内人だ。

八頭町

【やず・ちょう】

BASIC DATA

人口	19,620人(H21)
農業就業人口	2,772人(H17)
面積	20,671ha(H21)
経営耕地面積	1,443ha(H17)
特産品	梨、柿、白ねぎほか



お問い合わせ先

八頭町産業課

〒680-0493 鳥取県八頭郡八頭町郡家493

☎ 0858-76-0208

http://www.town.yazu.tottori.jp/